

講義名	医学概論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	櫻井 一成		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	32054

主題と概要

体のしくみと働きについて学びながら基本的な医学的知識を習得することにより、健康・保健に対する意識を高め、学生生活・社会生活上最も大切な体調維持・管理（自己管理）を円滑にし、医療に対する社会的ニーズを把握する。本講では、人体の基本構造と機能（解剖と生理）を理解しながら、頻度の高い疾患を主体に、主要疾患の病理病態（成り立ち）、診断、症状、治療、予防等を含め、基礎から臨床に及ぶ重要事項について、なるべく判り易く解説する。また将来、医療・介護等従事者（介護福祉士、社会福祉士などの国家資格、診療関連パラスタッフなど）を視野に含めている学生や医学知識が要求される職業（ex 観光関連：旅行社、ホテル・旅館等接待業などにおける接客対応、交通・輸送関連など）を目指す方は、本学習を基盤としてさらなる研鑽を積む必要がある。

到達目標

1. 体のしくみと働きを知り、また主要疾患について学ぶことにより、学生生活および社会生活上最も大切な 体調維持・管理（心と体の健康維持・管理＝自己管理）について十分認識させ、将来の職業人として必要な、健康保持についてのモチベーションを高めるとともに、医療に対する社会的ニーズを把握する。
2. 医療・介護等従事者（介護福祉士、社会福祉士など）や観光関連産業、接待業など、医学知識が要求される職業を目指す学生においては、本学習をその礎と成す（更なる研鑽を求める）。

提出課題

【中間期評価】 出欠調査を兼ねた中間期評価として、毎回、講義終了前に小試験を行い、終了時に出欠調査 + 回答用紙としてこれを提出する（返却不可）。無記名答案は欠席扱いとなり、評価不能となるので十分注意すること。
【終期評価】 レポート試験を行う。課題は2題。全て自筆で回答し、必ず提出すること。出題時期は6月中旬頃、また提出時期は7月初旬頃を予定している（指定された提出期限厳守）。

評価の基準

【配点】 授業態度15%（＝15点、無遅刻無欠席者3点加算）、中間期の理解度試験（毎回の小試験）65%（＝65点）、レポート試験20%（＝20点）とする。講義（計15回）の2/3(10回)以上の出席が必要（遅刻、早退各3回で1回分の欠席扱い）。1/3以上の欠席した者は、如何なる理由があっても履修不可となるので注意すること。またレポート試験受験（提出）しても、結果的に1/3以上欠席となった者についても履修不可となる。
【提出課題】 中間期評価小テスト：毎回5～6点満点（授業態度＋理解度、1～10講は各5点、11～15講は各6点）×1.5回＝80点。積極的授業参加者は加点、また、遅刻、早退、無断中座、また私語、スマホ・パソコン操作（本講では不要）、居眠り等の授業態度不良で注意を受けた者、後方座席着席者（後述*）は、各々減点とする。なお、学籍番号不記載及び無記名答案提出者は欠席扱い＝0点、無遅刻無欠席者は3点加算する。終期評価のレポート試験については、20点満点とし、中間期評価（小テストの合計点）にレポート試験の評価を加算したものが総合評価となる。

履修にあたっての注意・助言他

- 受講に際して...
- 1) 毎回、よく復習しておくこと（復習が特に重要）。
 - 2) 講義時の着席：縦列中央より前方(前1/2)に着席すること。後方座席(後ろ1/2)着席者は減点*。
 - 3) 新聞、TV、ネット等を通じ、医学・医療情報や社会動向について日頃から極力理解を深めるよう留意すること。また本分野は極めて広範に及ぶため、下記の参考図書等を利用して自主的に研鑽に努めることが肝要である。
 - 4) 積極的に質疑を行い、理解できないまま先送りしないこと。
 - 5) 出欠状況については、各自メモを取るなりして常時確認しておくこと（2/3以上の欠席者は、如何なる理由があっても履修不可）。
 - 6) レポート試験受験（提出）しても、結果的に1/3以上欠席した者については履修不可となる（前述）。

教科書

からだのしくみ事典	浅野伍朗監修	成美堂出版	1500 + 税	ISBN978-4-

プリント資料及び参考文献

【プリント資料配布】 毎回ハンドアウト（プリント）を配布する。多くの内容を包含するので、字が小さく見づらいことがあります（sorry!）。教科書を購入して確認して下さい。欠席者には、次回のみ「前回プリント」を配布するので申し出ること。また欠席回分については、プリントを主体にしっかり学習しておくこと。
【参考図書】：さらに興味のある学生には「お勧め」です。
1. 「からだの地図帳」高橋長雄監修（講談社）\4,077
2. 「新版病気の地図帳」山口和克監修（講談社）\4,200

授業計画

1. 履修説明、「序論」医療と福祉、「心と体の話」、「人体の構成成分について」
2. 「体液の話」～血液とリンパ液の働きについて、血液・リンパ系疾患について～
3. 「心臓の働きと心臓病、血圧の話」～動脈硬化と高血圧～
4. 「免疫の話とH I V感染症について」～ストレスから身を守る～
5. 「恐ろしい生活習慣病」～メタボリック症候群について～
6. 「膵臓の働きと糖尿病について」～知らないうちに蝕まれているかも？～
7. 「消化管の働きと消化器系疾患について（1）」～口腔疾患～
8. 「消化管の働きと消化器系疾患について（2）」～飲食物は食道から胃、小腸、大腸へ～
9. 「脳の働き、突然襲う脳卒中」～アッ!という間に命取り～
10. 「沈黙の臓器」～肝臓の働きと肝・胆道疾患～
11. 「腎臓の働きと泌尿器系疾患について」～体液の濾過ができないと...～
12. 「悪性腫瘍の基礎と臨床」～総論～
13. 「悪性腫瘍の基礎と臨床」～男性に多いがん/女性に多いがん～
14. 「呼吸器感染症について」～インフルエンザ・肺炎と結核について～
15. 「医療保険のしくみ」
レポート試験：回答期間は1ヵ月弱（2/3以上の出席が必要！）
講義順・内容が変更になることあり。印は教科書の記載がやや僅少です（教科書の補強項目）。教科書を持参しなくても結構です。

予習・復習

【予習】 教科書「からだのしくみ事典」を良く読み、予め学習しておくこと（20～30分程度）。
【復習】 講義項目については、毎回の小テスト問題を主体にしっかりと復習（30分以上）しておくこと。

備考

「努力よりほかにわれわれの未来をよくするものではなく、また努力よりほかにわれわれの過去を美しくするものはないのである」（幸田露伴）
* 講義の冒頭に「ものしり大百科」、終了時に「本日の名言」を付与します。

備考

「努力よりほかにわれわれの未来をよくするものではなく、また努力よりほかにわれわれの過去を美しくするものはないのである」（幸田露伴）
* 講義の冒頭に「ものしり大百科」、終了時に「本日の名言」を付与します。